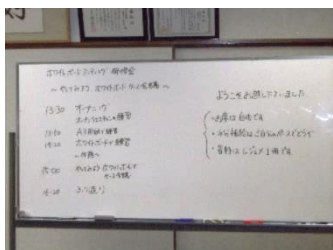


やた はな組

2014年8月12日(火)

～ 第3回「ホワイトボードケース会議でカンファレンスを進めてみよう」 ～



矢田圏域ケアマネ勉強会「やた はな組」を矢田中ひまわり会館にて開催しました。

前々日には台風の接近による大荒れの天候。その余波も手伝って、蒸し蒸しと熱い勉強会になりました。

「ホワイトボードケース会議」の3回講座の最終回「ホワイトボードケース会議でカンファレンスを進めてみよう」を行ないました。

初めに2人1組になり、オープンクエスチョンの復習、一方がファシリテーター役で相手の思考を深めるクエスチョンを使い、聞き出していくのですが、言葉の選び方に悪戦苦闘し、話の内容を深めるところまでは難しかった。

次にA3用紙を使って、気になるケースを思い浮かべて、互いにアセスメントの記入を復習しました。



➡ 後半は実際にホワイトボードを使って、4人～5人が1グループになり、講師がダミー事例の相談を行なう形式で、交代でファシリテーターになり、アセスメント分

析スケールを使い、ホワイトボードに書き出して練習を行いました。

次にグループ内から一人が事例提供を行い、残ったメンバーが交代でファシリテーター、サポーター役になり、ホワイトボードを使ってケース会議を行ってみました。

実際にホワイトボードに書き出して、見ながら応答することで課題に対して集中でき、振り返りや気づきが出来たと、驚きの効果を実感され、ホワイトボードケース会議を職場などでも実践していきたいとの感想もいただきました。



みなさんの感想

自分が気づかなかった疑問点などを、他の方が質問されたことで気づいた点は何点かあったのでとても有意義でした。

皆で板書をみながら進めていくことで、分かりやすい、整理しやすいと感じました。ただ言葉を交わすだけよりも、理解が深まると思います。etc.

ホワイトボード・ミーティング(WBM)は参加者の力が活かされる効率的、効果的な会議の進め方の1つです。2003年にちょんせいこ(株式会社ひとまち)が開発し、多様な地域や領域で取り組まれています。【参考図書】「元気になる会議～ホワイトボード・ミーティングのすすめ方」(解放出版社) <http://wbmf.info>

「ホワイトボード・ミーティング(WBM)高齢者支援チーム」の神田先生、船越先生、ご協力いただいた矢田中地域福祉コーディネーターさん、参加いただいたケアマネのみなさん ありがとうございました。

次回 「第10回 はな組」にも、みなさまの参加をお待ちしています。

「やた はな組」は、参加される皆さんの意見を反映させ、自由につくっていきたいと思っています。皆さんの要望や意見もお聞かせください!!

矢田地域包括支援センター

電話 06-6694-5552

E-mail hokatu@karan.or.jp